

15m おきに写真を撮影して調べる 城下町の重要な景観



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ 大平 和弘

■城下町の景観を残すために

兵庫県三田市には、城下町として栄えた歴史があり、まちを歩くと古い建物や趣きのある和風の緑などの景観が、今も残されています。では、まちを歩いた時に、どの場所でどのような景観を見ることができのでしょうか。まちの主要な街路で 15m おきに写真を撮影して分析する景観調査を行いました。

■歩きながら距離を測ることのできる秘密道具

街路で 15m を効率よく測るため、車輪付デジタル距離測定計（展示中）を使用しました。そして、548 枚の写真を撮影し、どの場所で何がどのように見えるのかを調べました（図 1）。

■調査で示された重要エリア

写真を分析した結果、景観を保全する上で重要なエリアと、保全すべき建物や緑を示すことができました（図 2）。今後は、エリアの特徴を活かした細やかな取組を進めることが重要です。

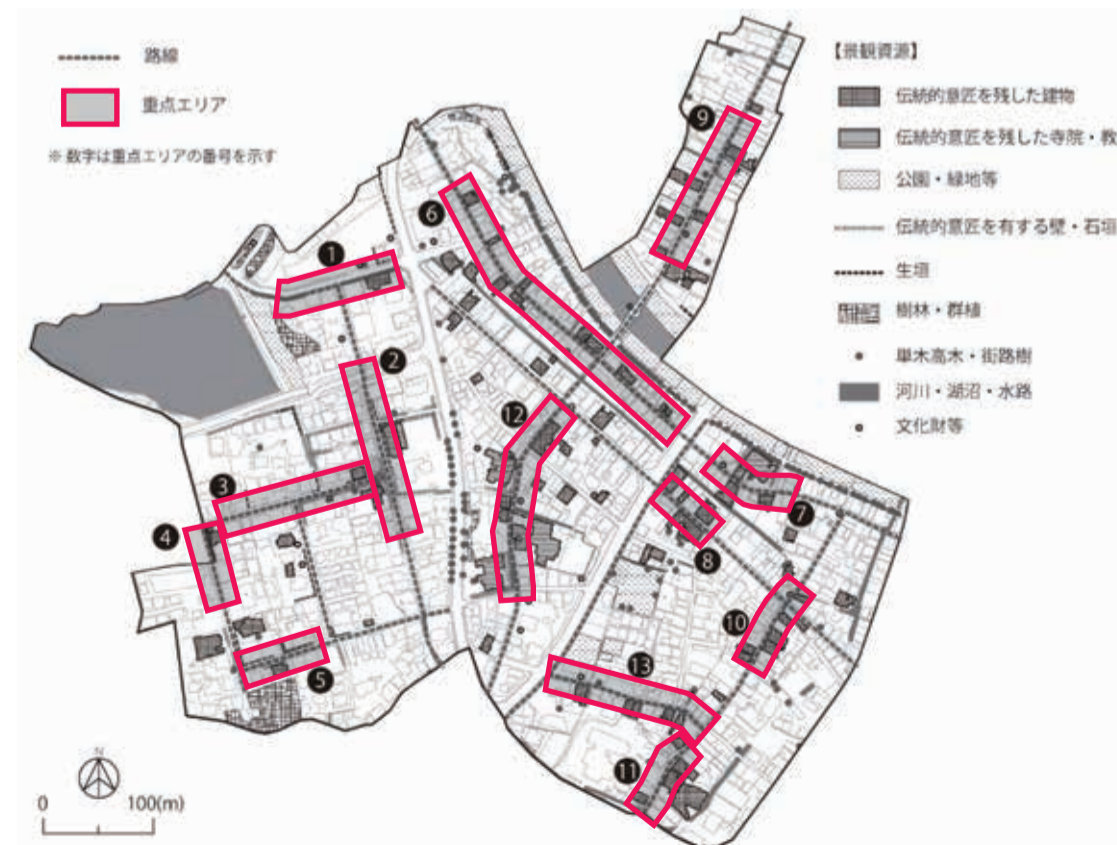


図 2 抽出された 13 の重要エリアと景観資源

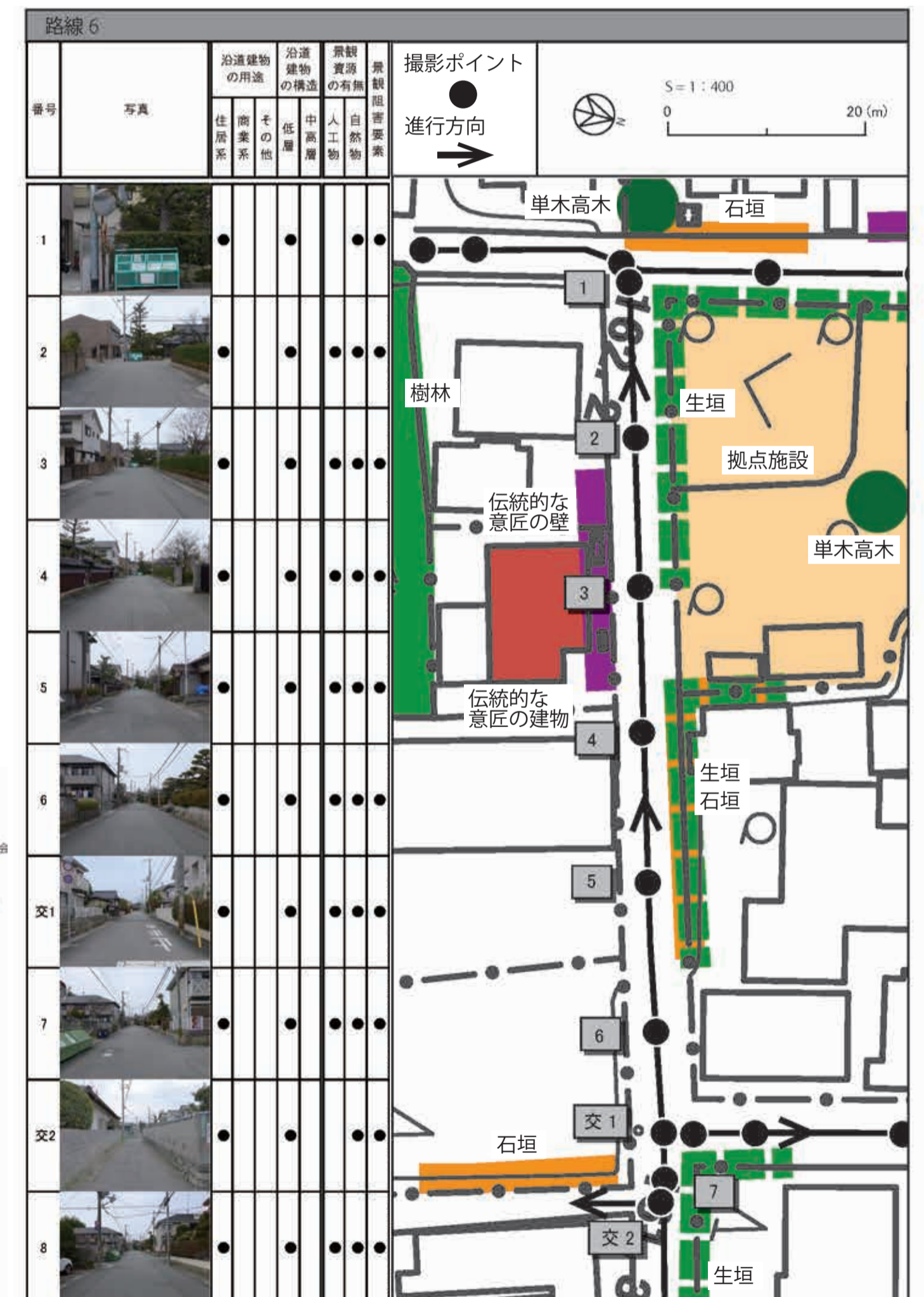


図 1 街路での 15m おきの撮影ポイントと撮影された写真の例